



宗教改革著作集

1 宗教改革の先駆者たち

オッカム

ウィクリフ

フス

権力は何に由来するのか

磐石にみえたヨーロッパの中世世界が倒壊へと向かう14、15世紀に、教会の現状や教皇権力そのものを問い直し、宗教改革への門戸を開いたオッカムのウィリアム（1280/90-1349）、ジョン・ウィクリフ（1330頃-1384）、ヤン・フス（1373頃-1415）の教会論・政治論を収録。教皇の至上権の否定、ミサに対する批判、聖書原理の展開等、当時異端とされた彼らの主張の数々は、フスの火刑からちょうど1世紀後となるルターの登場を先取りしたといえよう。